

# 花山ダムの洪水調節について

宮城県土木部 遠 藤 剛 人

## は し が き

北上川水系道川上流一迫川の渠管花山ダムは運転3ヶ年を経過したのであるが、その間どのような方法で洪水調節が実施されてきたかを報告する。

### § 1. ダム概要と洪水調節計画

- (1) カスリン・アイオン台風水害のあと道川改修計画の改訂がなされ、その結果一迫川に花山ダム、三迫川に玉山ダム、道本川に南谷地、長沼両遊水池計画が生まれ、このうち花山ダム、南谷地遊水池は竣工、玉山ダムは36年度竣工の予定である。
- (2) 花山ダムはかんがい発電をあわせてもつ多目的ダムで、有効貯水量は3000万 $m^3$ である。計画洪水流量は1440 $m^3/s$ で、これを945 $m^3/s$ カットし、455 $m^3/s$ を放流、玉山ダムのコントロールとあわせて若柳地点の洪水量2300 $m^3/s$ を1600 $m^3/s$ にしようとするものである。
- (3) 容量配分は制限水位方式をとり、洪水期7月1日～10日までは1500万 $m^3$ 、7月11日～9月30日までは2000万 $m^3$ としており、これは雨量に換算して157mmに相当し、現在日本の治水ダムのうちでは大きな部類に入る。
- (4) 放流設備としてはダム中央に9.5×10.0mのローラーゲートスリットを設け、また上流にロボット雨量計、ロボット水位計、下流にロボット水位計をもち、警報所を5ヶ所設置している。

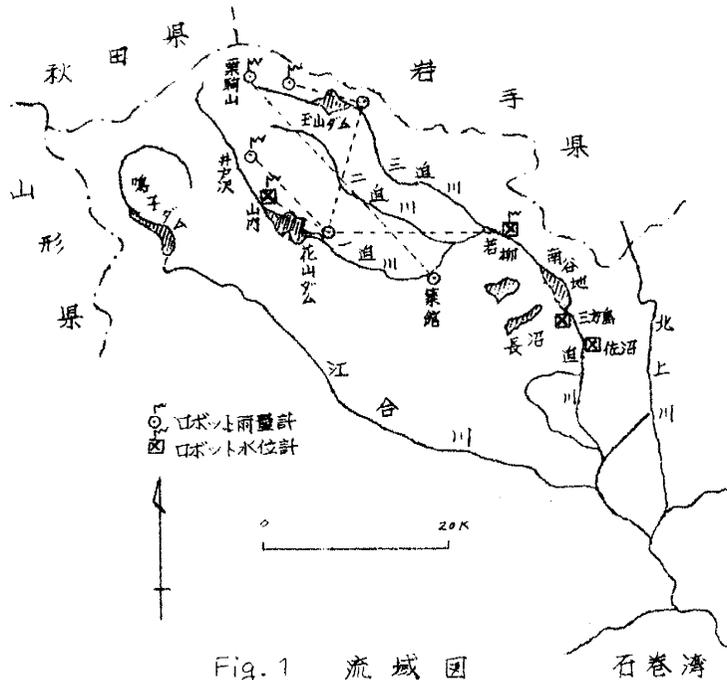


Fig.1 流域図 石巻湾

## §2 ダム流入量の予報

- (1) 第1段階は気象法——気象台発表の降雨予報による。発表時刻よりみて8~12時間前である。この予報の24時間雨量から Fig-2により peak 流量が、Fig-3により peak が単一な場合の hydrograph が大凡を推測される。図で A型は降雨 peak が6時に、B型は12時に、C型は18時に生起するものとし、その強度は鷗見博士の  $Cx = \left(\frac{24}{x}\right)^{0.6}$  により前後に漸減するとした分布を示す。精度は降雨予報が誤差が大きいことからあまりよくない。
- (2) 第2段階としては雨量法により井沢テレメーターの雨量により、Fig-4の unit-graph によりもとめる。これは2~4時間前である。Fig-5は井沢と流域平均雨量の関係で、よく代表している。有効雨量の計算には Fig-6の損失雨量曲線を使用する。Fig-7は最大2時間平均雨量と peak 流量との関係で、これから50mm程度までは  $Q_p = 13.8 R_{2m}$  である。

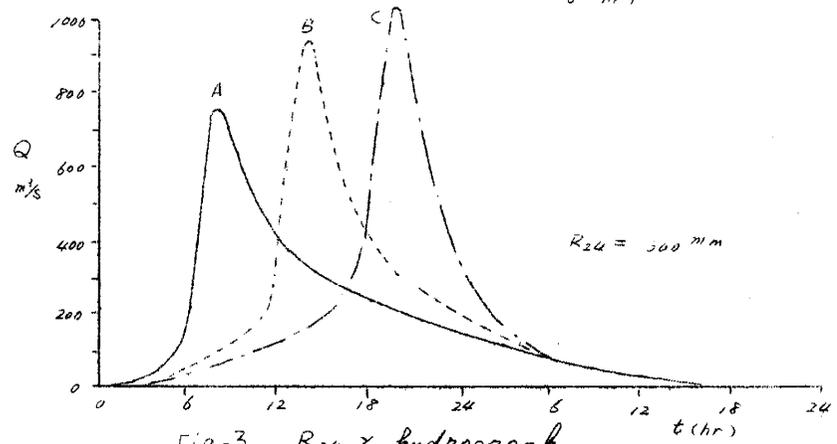
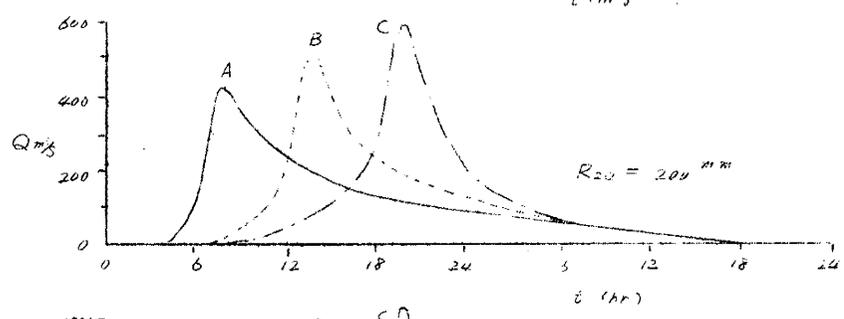
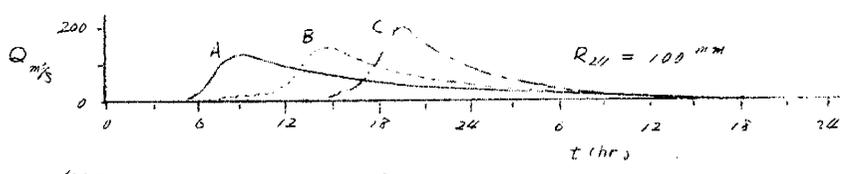
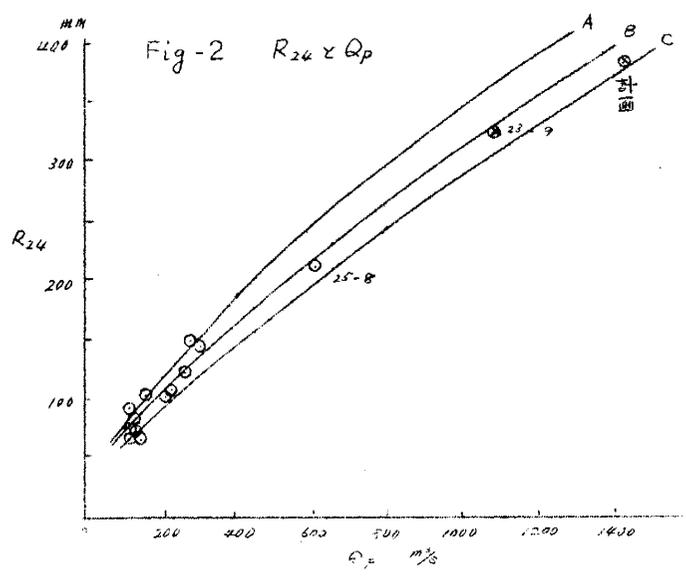


Fig-3  $R_{24} \propto$  hydrograph

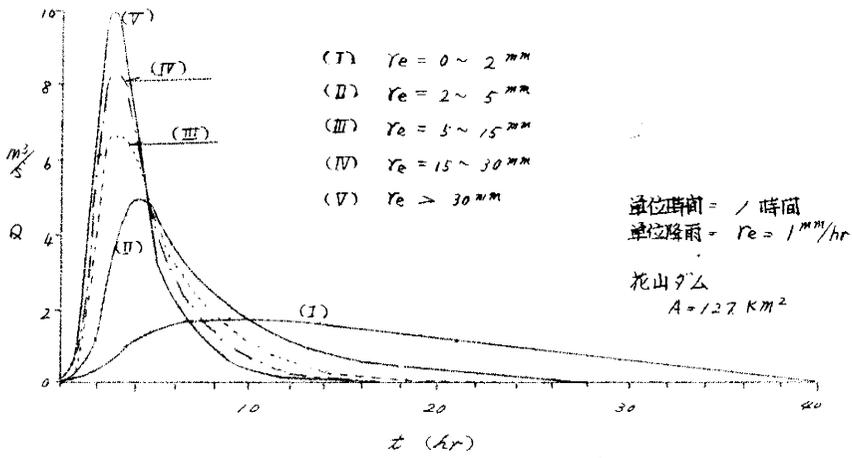


Fig. 4 Unit-graph

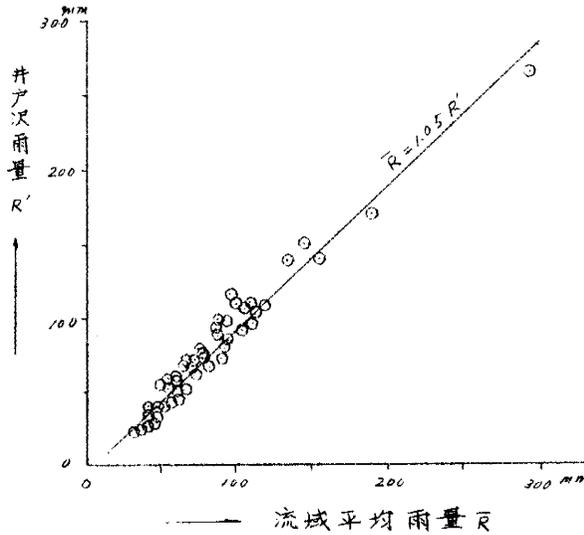


Fig-5 井戸沢と流域平均雨量の相関

(3) 第3段階は以上の方法でもとめられた hydrograph の修正の段階であつて、山内テレメーターにより 1~2 時間前に知られる。

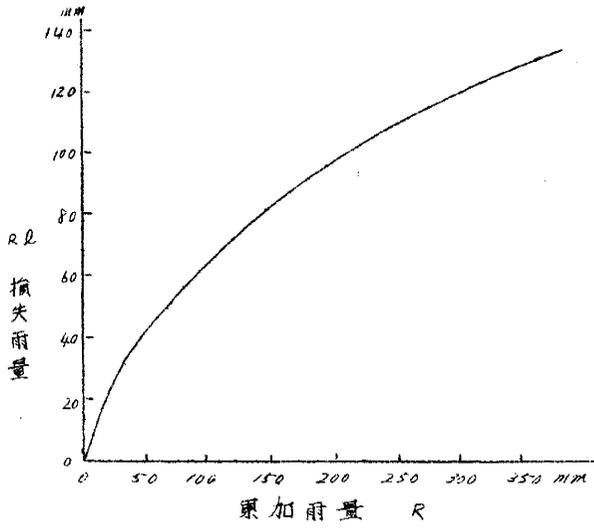


Fig.-6 損失雨量曲線

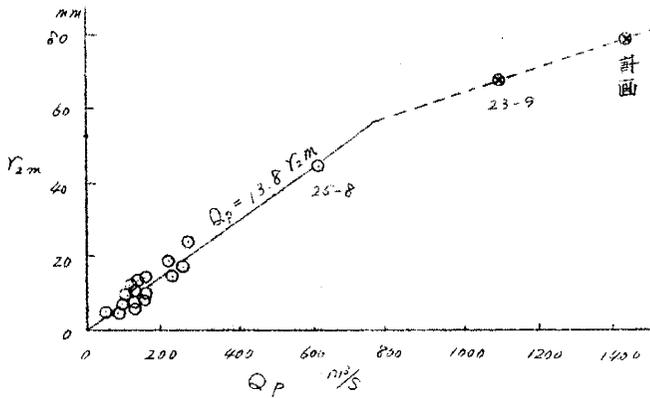


Fig.-7 最大2時間平均雨量とPeak流量との関係

### § 3. 調節操作

- (1) 容量の許すかぎり無放流調節を行う。資料より推定すれば 1,000 万  $m^3$  の時は総雨量 150 mm まで, 2,000 万  $m^3$  の時は 250 mm までは無放流調節ができる。
- (2) 放流調節の場合は洪水と同時に 20  $m^3/s$  の放流をなし, 流入

Peak / 時間後より最大放流をする。最大放流量は hydrograph によって決定する。もし hydrograph の予報が困難な場合には Fig-8 を用いる。すなわち  $Q_0$  は

$$V = 2,000 \text{ 万 m}^3 \quad Q_0 = 0.00129 R Q_p - 65$$

$$V = 1,500 \text{ 万 m}^3 \quad Q_0 = 0.00224 R Q_p$$

Fig-8 を用いて既往洪水にあてはめたのは、Fig-9 のとおりである。

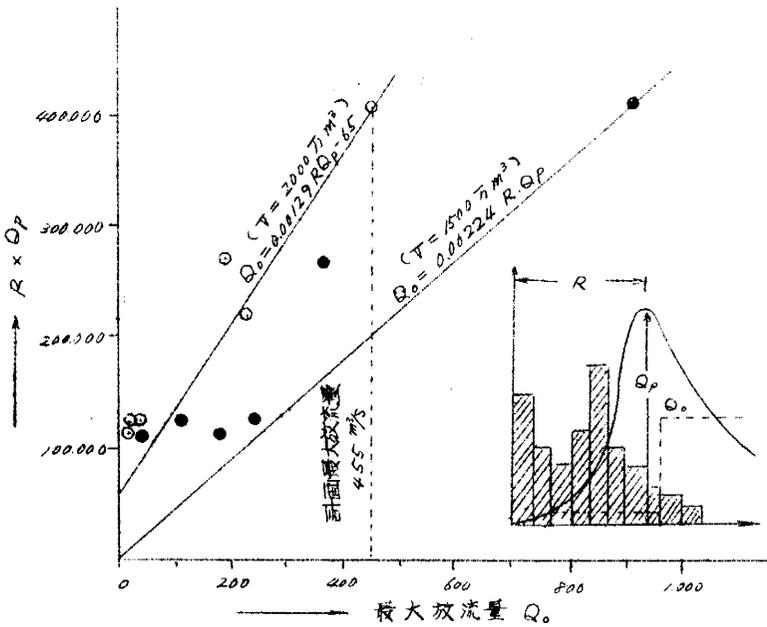


Fig-8  $Q_0$  (最大放流量) 算定図

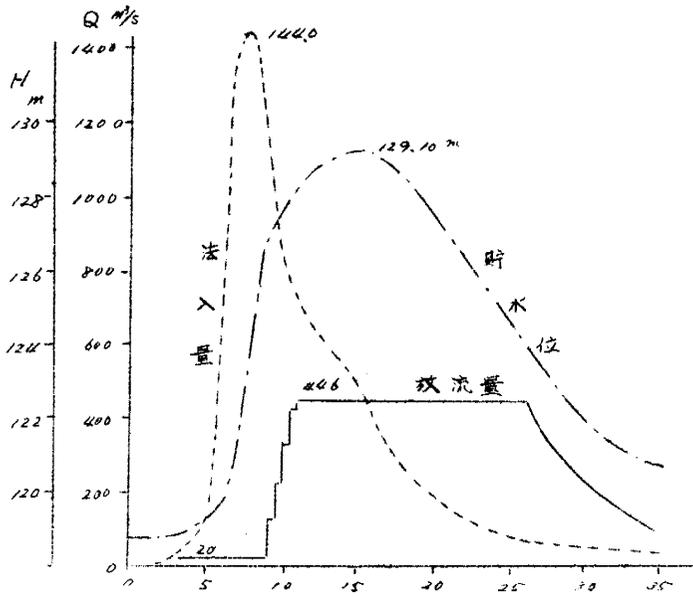


Fig-9 Fig-8 による計算洪水の調節

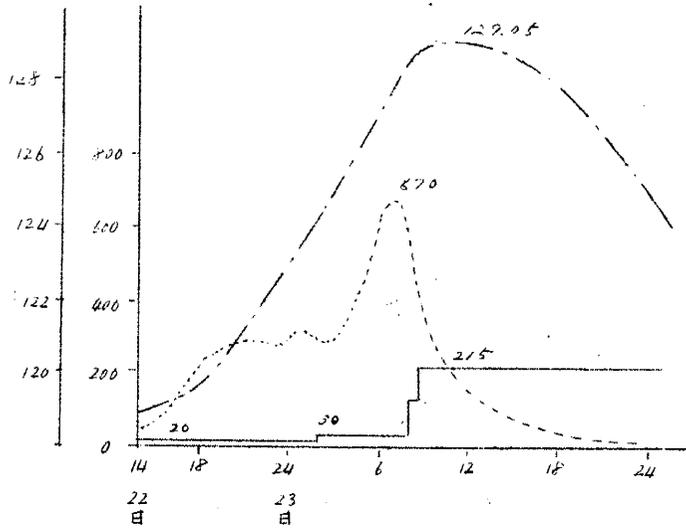


Fig-9 Fig-8 による16年7月洪水の調節

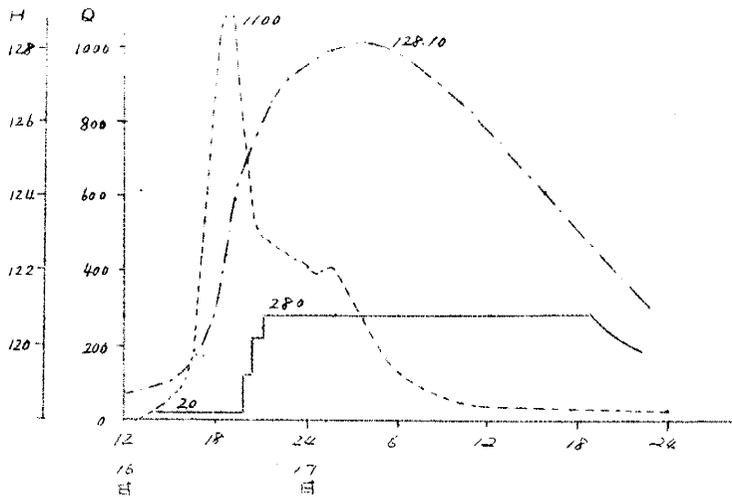


Fig-9 Fig-8 による 23 年 9 月洪水の調節

- (3) 洪水 peak が二つ以上の時にはつぎのような放流をする。第 1 peak の方が第 2 peak より大きい場合は第 1 peak の放流量をそのまま持続し、第 2 peak の方が大きい場合には第 2 peak 以後はこれに対応する放流量を放流する。
- (4) 時間的に余裕のある場合は予備放流として無害流量 50 m/s を放流し、容量を確保する。500 万 m<sup>3</sup>を得るのに 28 時間を要する。

#### § 4 下流洪水の予報

- (1) 一、二、三迫川の合流点若柳の水位はダムより予報する。第 1 段階としては雨量予報により調節方針がきまれば Fig-3 および Fig-10 を利用してもとのる。15 ~ 20 時間前となる。
- (2) 第 2 段階としてはダムの流入 peak, 放流量より Fig-10 を用いて予報する。約 7 ~ 8 時間となる。図において  $\alpha$  は降雨の地域分布係数で  $\alpha = \frac{\text{他流域雨量}}{\text{花山ダム流域雨量}}$ 。他流域の雨量は至山ダム、築館通報所より知られる。Fig-10 を利用して既往洪水をもとのた結果は表-1, 2 のとおりである。

(3) 若柳より下流については Fig-11 を利用する。

表-1 既注洪水の予報

年 月	実 績	$\alpha = 1$ として $R_{24}$ より	$R_{24}$ より	ダム流入量 より
22-9	1,500 <sup>m/s</sup>	1,040 <sup>m/s</sup>	1,070 <sup>m/s</sup>	1,180 <sup>m/s</sup>
23-9	2,300	1,940	2,380	2,380
25-8	1,100	1,220	1,000	1,060

表-2 調節後水位の予報

年 月	水 位		起 時	
	実 績	予 報	実 績	予 報
33-7	4.70 <sup>m</sup>	4.40 <sup>m</sup>	23 <sup>時</sup>	19 <sup>時</sup>
33-8	4.15	4.40	1~2	1
33-9	5.05	5.05	21	22
34-7	4.18	4.55	13~14	14

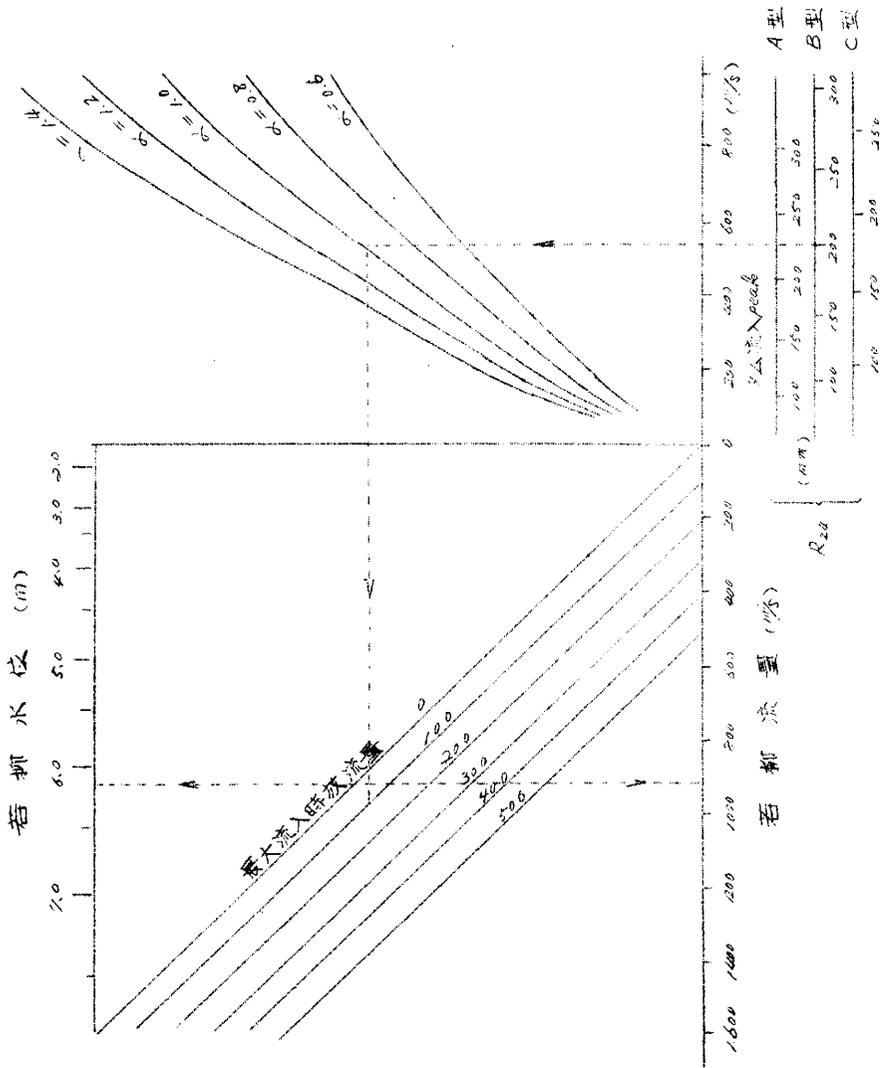


Fig-10 若柳水位の予報図

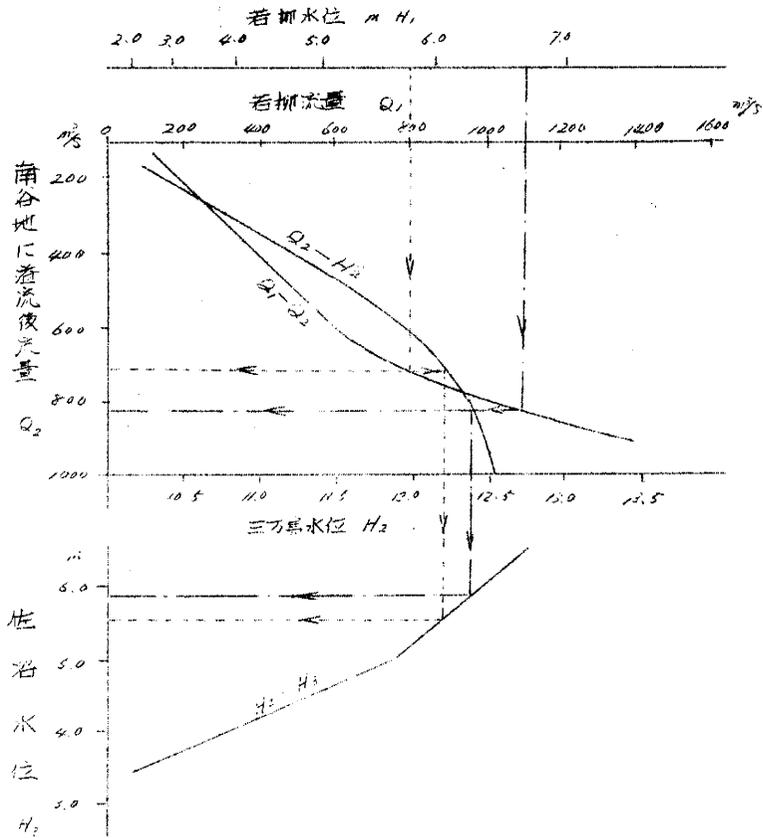


Fig-11 若柳下流の予報図

§5 洪水調節の実績

- (1) コントローラーの義務をもつ 100 m³/s以上の調節実績は表-3 および Fig-12, 13 のとおりである。
- (2) Fig-14 はダムカット量の低減をあらわしたもので、カット量が大きい程その低減が著しいことがわかる。これは河道における貯溜現象をあらわしている。

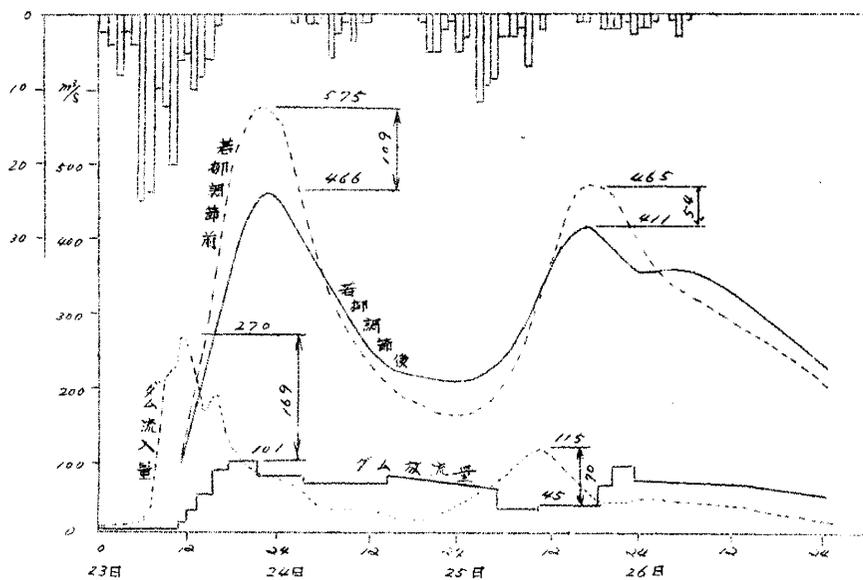


Fig. - 12 33年7月洪水実績図

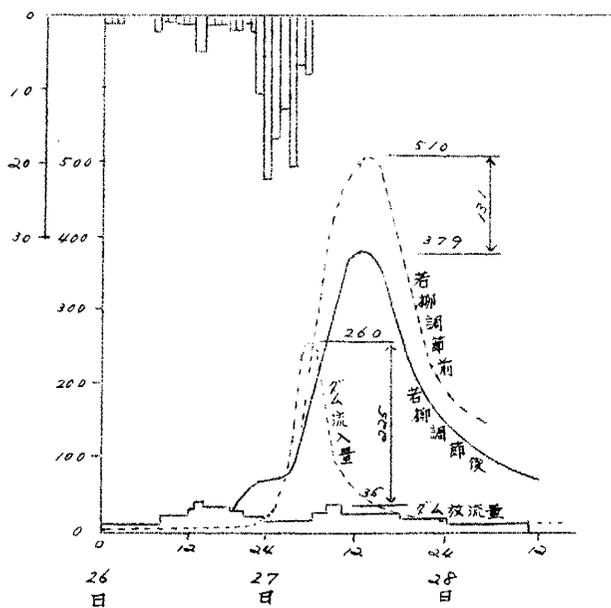


Fig. - 13 34年9月洪水実績図

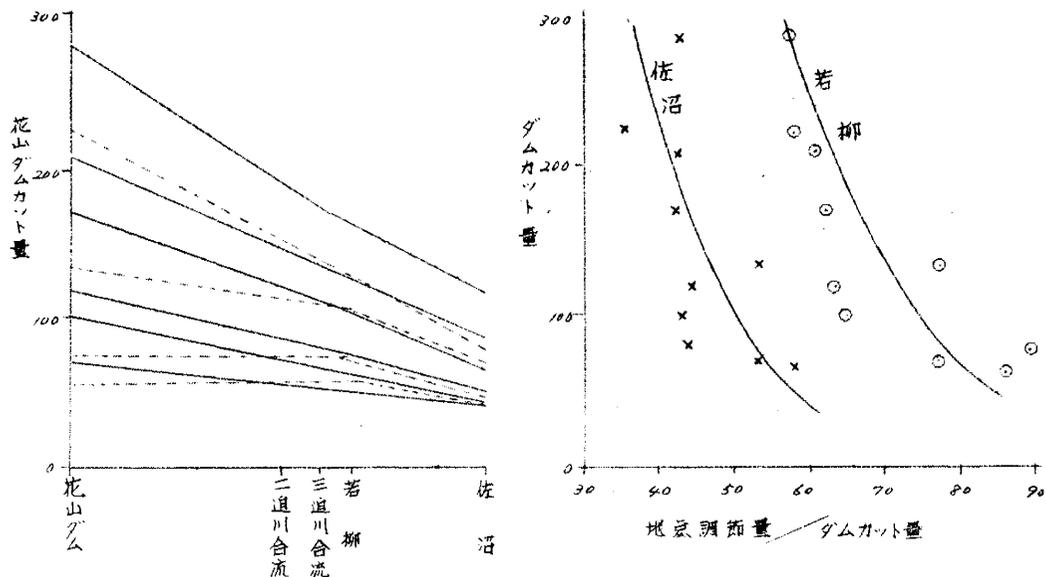


Fig-14 ダムカント量の低減

### あとがき

- (1) 洪水調節の実績は小洪水のみで、いわば実験的なものといえるものである。
- (2) 本ダムのように山間地にあり、出水速度が早いダムにおけるコントロールは、降雨予報が大きな影響をもち、この精度の向上がのぞまれる。

表 - 3 湖 節 突 績 表

洪水 年月日	花 山 ダ ム			若 柳		佐 沼	
	総雨量	最大 流入量	最大 放流量	調節前	調節後	調節前	調節後
33. 7. 23	274 <small>mm</small>	270 <small>m/s</small>	101 <small>m/s</small>	57.5 <small>m/s</small>	46.6 <small>m/s</small>	48.8 <small>m/s</small>	41.7 <small>m/s</small>
33. 7. 25		115	45	46.5	41.1	45.8	42.1
33. 7. 28	91	100	52	400	343	398	360
33. 8. 26	112	220	8	480	352	376	287
33. 9. 18	155	295	9	710	546	616	495
34. 8. 14	99	145	9	300	196	211	139
34. 9. 27	123	260	35	510	379	332	293
35. 4. 20	53	107	9	330	267	219	177
35. 5. 28	78	115	46	330	257	219	183
35. 10. 8	103	125	6	400	326	271	219